

本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

- 施工の前に、本説明書をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- 本製品は住宅およびそれに準じる居住空間に使用するインテリア専用部材です。他の用途へのご使用はおやめください。
- 屋外および浴室など水分と接する部位には使用しないでください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

- 「2人以上で作業する」
1人作業では商品の落下などによりケガをするおそれがあります。
- 「必ず付属の金具・ビス・ネジにて施工する」
商品を確実に固定できず、破損・落下によりケガをするおそれがあります。
- 「ビス・ネジの固定し過ぎ/固定に注意する」
ビス・ネジを固定する場合は、電動ドライバーなど空回り、頭つぶれのないようにする。守らないと、扉などが落下してケガをするおそれがあります。
- 「下穴をあけてから、ビス・ネジで固定する」
下穴がないと材が割れたり、ネジ切れするおそれがあります。
- 「上固定枠は天井面の躯体へ確実に固定する」
確実に固定しないと、落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- ⊘

分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。
- ⊘

マグネットに関して
心臓ペースメーカーを装備されている方、その他、医療電子機器類に関しても影響を与える場合があります。
- ⊘

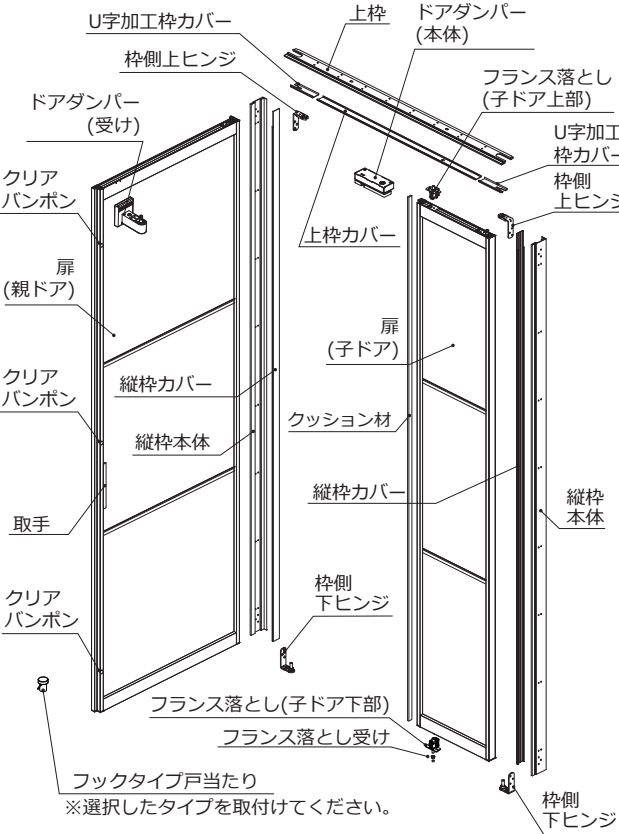
衝撃によるガラス破損
扉にぶらさがったり、寄りかかったり、ぶつかったり、ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れてケガをするおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。
- ⊘

扉表面に吸盤フック等の使用や、横棧部分等の使用による、物の吊り下げをしないでください。
製品を傷つけたり、製品の落下によりケガをすることがあります。

1 各部の名称

◎クアドロスリム 親子ドア

※本仕様は左勝手です。
※イラストは横棧有デザインになります。
※イラストはホワイト/ブラックフレームになります。



名称		数量
扉（親ドア）		1
扉（子ドア）		1
ドアダンパー		1
三方枠	縦枠本体	2
	上枠	1
	ナベ T.P 4×25	50
枠カバー	縦枠カバー（左右共通）	2
	上枠カバー	1
	U字加工枠カバー	2

戸当たり部品セットは下記の2つより選んでください。
1. フラットタイプ戸当たり
2. フックタイプ戸当たり
※ 水摺・床見切を使用する場合
は、現場調達してください。

フラットタイプ 戸当たり
フックタイプ 戸当たり

■使用工具



電動ドライバー

手回しドライバー

※ インパクトドライバー
は使用不可

⚠ 注意 「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

- ⊘

扉は湿度の高いところや、雨に濡れた状態での保管はしないでください。
湿気や雨により、梱包箱又は梱包材が濡れた状態が続くと、扉が変色するおそれがあります。
- ⚠

本製品の設置は強風の吹く場所を避けてください。
強風が吹くと、扉が勢い良く開いて戸当たりにつつき、ガラスが割れたり、扉が変形したりするおそれがあります。
- ⚠

枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。
やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。
- ⚠

枠の組立てには、同梱のビス・ネジを使用してください。
他のビス・ネジを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。
- ⚠

ヒンジ 取付けネジの締付け
取付けネジは確実に締め付けてください。締めつけがゆるいと使用中に取付けネジがゆるみ、ヒンジが破損したり扉が脱落してケガをするおそれがあります。
- ⊘

部品に潤滑油やグリスを注さないでください。
部品の割れや変形、変色を生じるおそれがあります。
- ⚠

施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。
- ⚠

扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当たる場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。
保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。
- ⚠

枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。
- ⚠

扉を開け放した状態にするときは、戸当たりなどをお使いください。
強い風などで、勢いよく閉まることもあり、ぶつかったりガラス割れなどで思わぬケガをするおそれがあります。

⚠ 施工上の注意 「物的損害が発生するおそれがある」内容

天井側にかかる荷重が最大200kgになります。
必ず構造計算のうえ、躯体に十分な強度をもたせて施工してください。

- ⊘

上固定枠、下固定枠は傾き・ねじれ・ビス・ネジの締めすぎによる変形が無いように取付けてください。
- ⊘

インパクトドライバーは使用しないでください。
調整は手回しドライバーを使用してください。
- ⚠

本商品は仕上がり完成品ですので、ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。
- ⚠

必ず強度のある天井または枠に取付けてください。
取付部の強度が不足している場合は落下の原因となります。
- ⚠

必ず平滑な天井または枠に取付けてください。
天井または枠に凹凸があると製品の破損につながります。
- ⚠

天井または枠の水平・垂直を確認してから取付けてください。
- ⚠

表面が汚れた時は、やわらかい布に中性洗剤を水でうすめたものを含ませて、拭き取ってください。
- ⚠

アルミフレームは傷つきやすいので施工時に傷つけないように注意してください。

■使用金具一覧

《共通部品》

3 方枠セットに同梱されています。

・ ヒンジ	
①取付けビス ナベT.P4×25	②枠側上 ③枠側下 ④取付けビス 皿T.P3.5×25 ⑤六角スパナ
1袋25本入り×2	2個 2個 12本 1個

・ ドアダンパー

⑥扉 戸先側(受け)	⑦取付けビス ナベT.P4×16	⑧枠 戸先側(本体)	⑨取付けビス 皿T.P4×60
1個	2本	1個	2本

・ その他の部品

⑩クッション材	⑪クリア パンボン	⑪フ랑스 落とし受け	⑫フ랑스 落とし受け底蓋
1個	3個	1個	1個

※ 重要部品ですので
必ず貼り付けてください。

《選択部品》

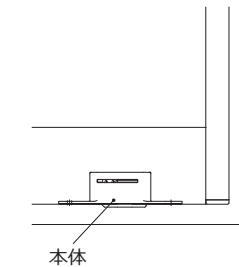
・ 戸当たり部品セット

お選びいただいた下記どちらかのタイプが、同梱されています。
扉梱包に同梱されています。

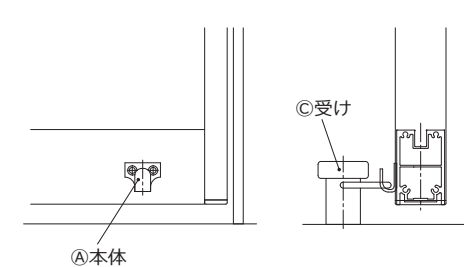
フラットタイプ戸当たり			フックタイプ戸当たり		
戸当たり		取付けビス	戸当たり		取付けビス
⑦床面(受け)	⑧床面(受けカバー)	⑨取付けビス 皿T.P3×16	①扉 戸先側下 (本体)	②床面(座金)	③床面(受け)
1個	1個	2本	1個	1個	1個
			④取付けビス 皿T.PM4×8	⑤取付けビス トラスT.PM6×40	
			2本	1本	

■戸当たり取付けイメージ

《フラットタイプ戸当たり》



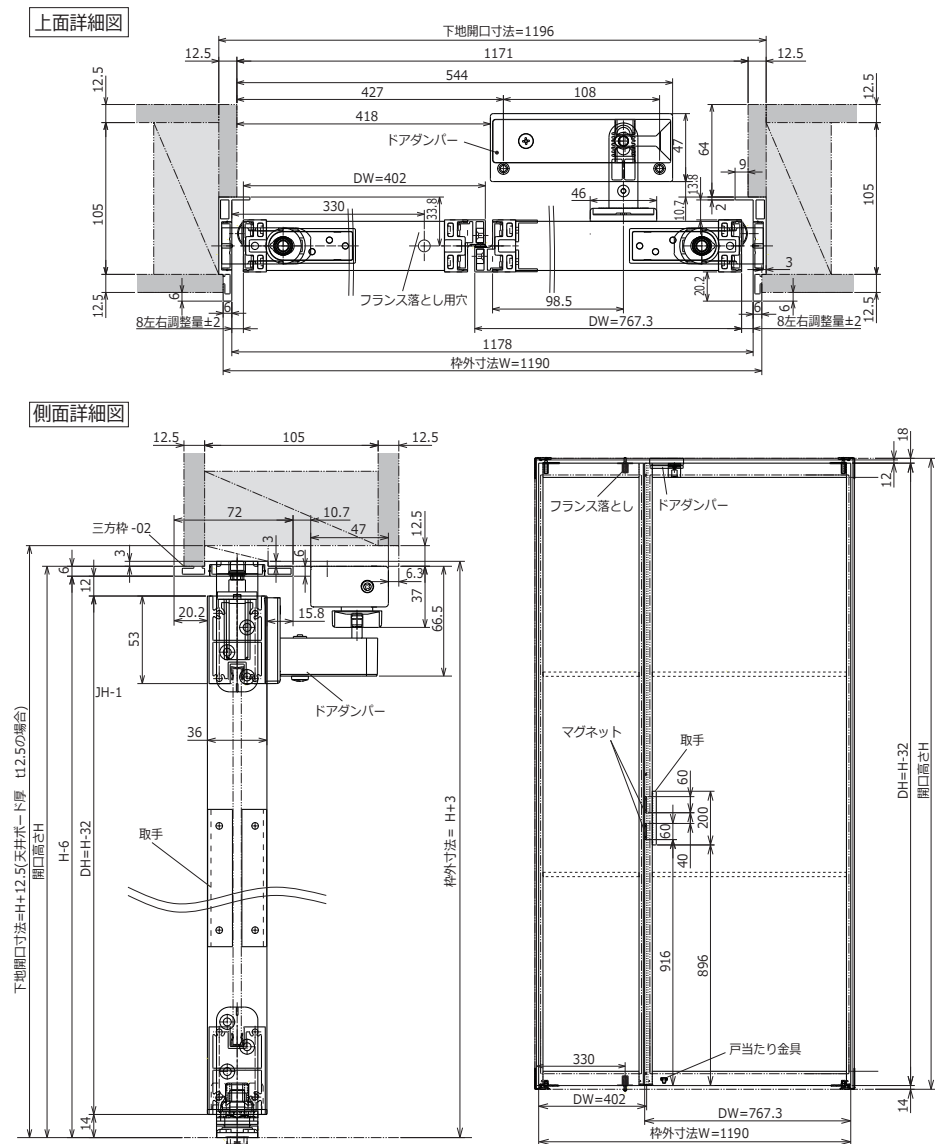
《フックタイプ戸当たり》



2 寸法図

※右勝手

※注意※
石膏ボードは厚さ 12.5mm とすること。
下地胴縁・上枠は 105×45 とすること。

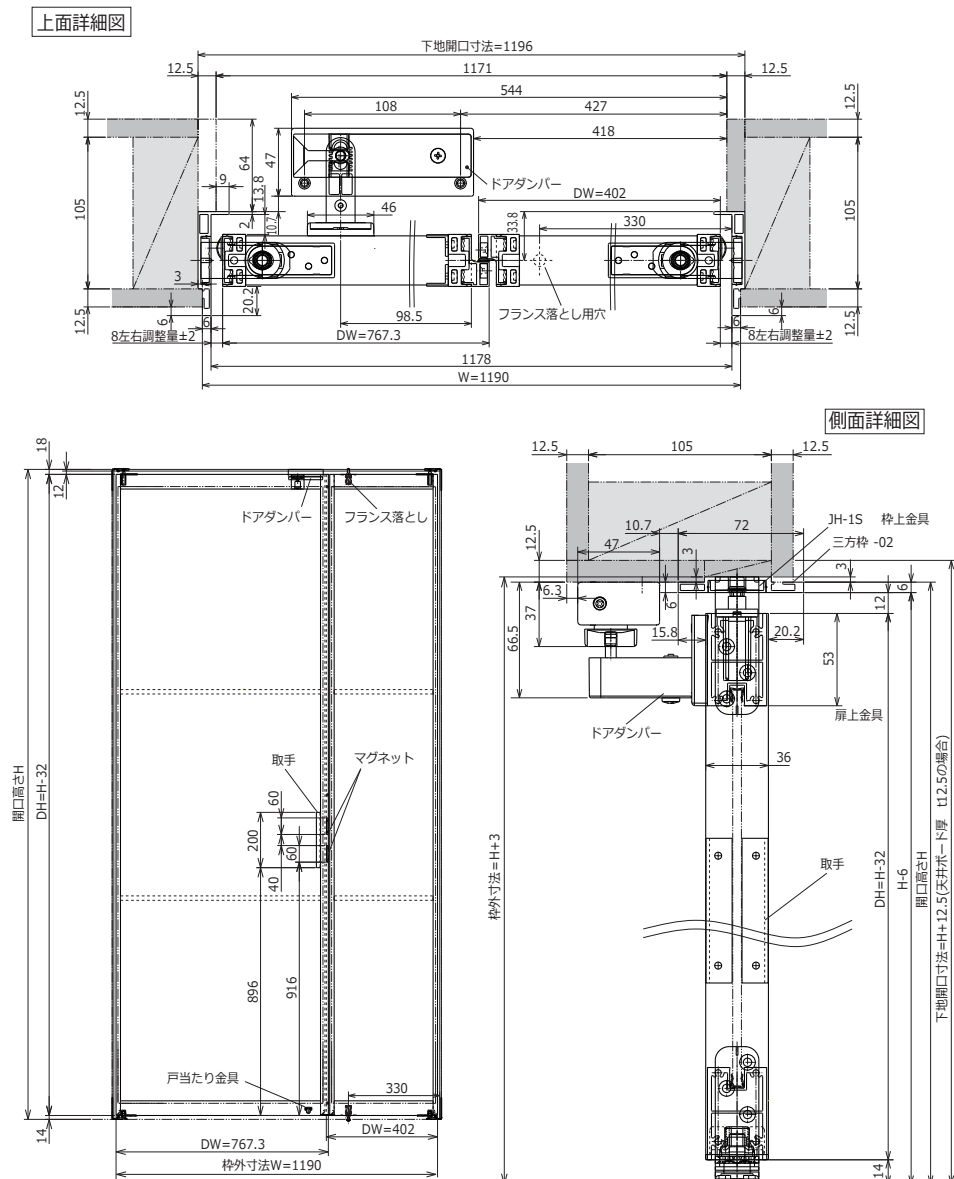


枠外寸法		W
H		
最大	2500	
規格	2350	
最小	1800	1190

※幅方向に対しての特注注文は
受け付けておりません。
※フランス落としは扉裏面に付いています。
※点線は横棧有デザインの横棧位置を示します。

※左勝手

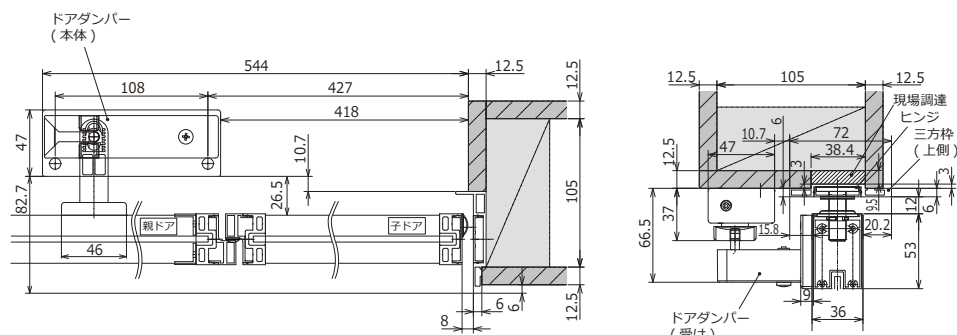
※注意※
石膏ボードは厚さ 12.5mm とすること。
下地胴縁・上枠は 105×45 とすること。



※幅方向に対しての特注注文は
受け付けておりません。
※フランス落としは扉裏面に付いています。
※点線は横棧有デザインの横棧位置を示します。

枠外寸法		W
H		
最大	2500	
規格	2350	
最小	1800	1190

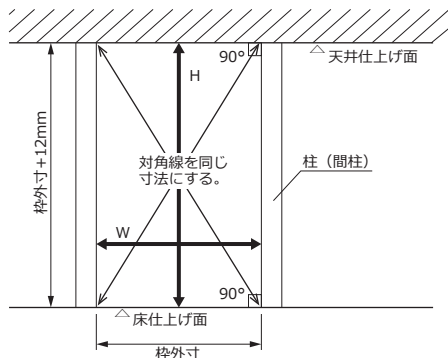
《ドアダンパー詳細》



3 設置前の準備

《設置前のご注意》

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 下枠・沓摺は必要な場合は現場調達してください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器等でよく確認してください。
- 枠の固定下地は扉重量が十分耐えうる構造としてください。吊元側は補強桟木をダブルにしてください。扉の重みに壁が耐えられず、建具が床をする場合があります。

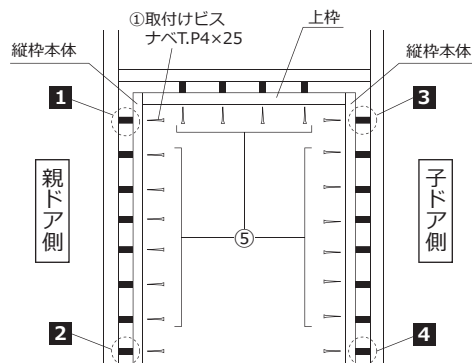


- 枠の寸法が守られないとドアの吊り込みが不安定となり、ドアの脱落・落下の原因となります。
- 寸法は2.寸法図にてご確認ください。

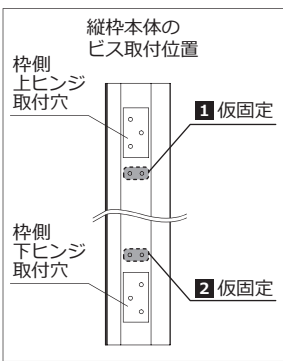
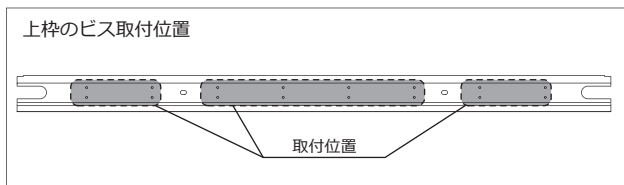
4 設置手順

1. 開口部への枠の取付け

- ① 縦枠を開口部にはめこんで親ドア側の枠の上部(1)を確認して仮固定してください。
- ② 下げ振り等を使って垂直をだしてから、親ドア側の枠の下部(2)を仮固定してください。
- ③ 水準器等で上枠の水平を見ながら子ドア側の上部(3)を仮固定してください。
- ④ 下げ振り等を使って垂直をだしてから、子ドア側の下部(4)を仮固定してください。
- ⑤ 上枠を水平に取付け、親ドア側・子ドア側を本固定してください。



※1～4はネジの締め付け手順を示します。

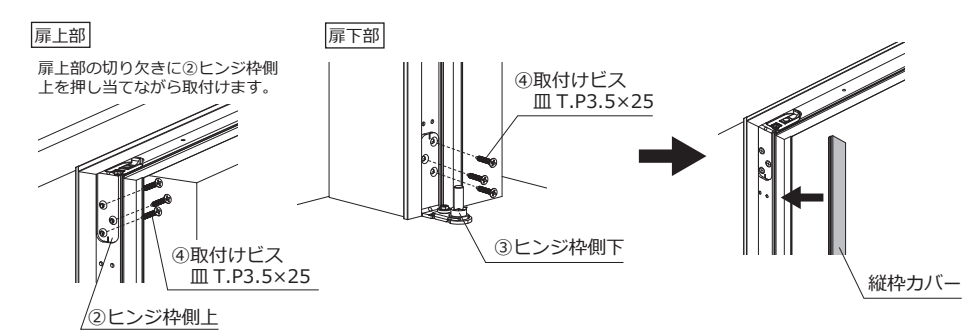


- 枠の水平・垂直を必ず確認してから取付けてください。水平・垂直が出ておらず、下図のようなことがあった場合、扉が閉まらない原因となります。
- 水平・垂直が出ない場合は木工ボンドを塗ったパッキンベニヤ(現場調達)等を入れて必ず調整を行ってください。
- RC納まりにおけるアルミ枠取付けネジ(テクスビス・ピラスビス等)は現場調達をお願い致します。



2. 縦枠カバーの取付け（ホワイト / ブラックフレームの場合）

※以下、全て左勝手仕様の場合です。
枠の上下に枠側ヒンジを取付け、縦枠カバーを取付けます。

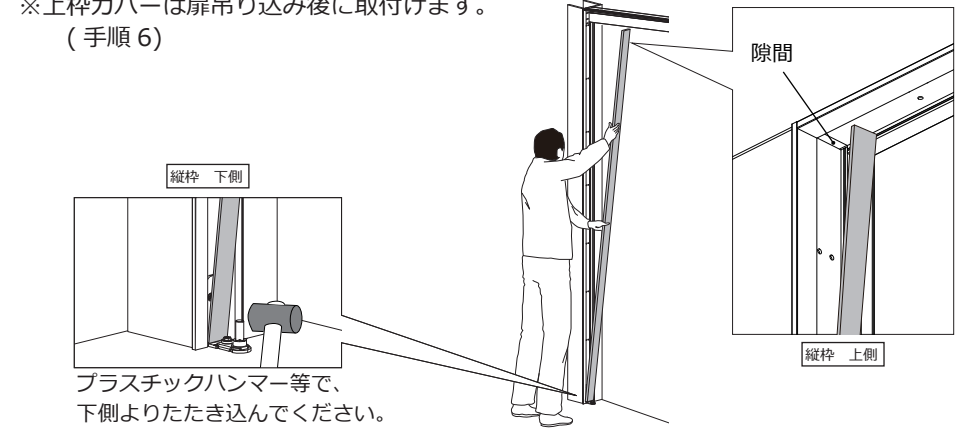


○ 一度カバーを取付けてしまうと、取外しができない為、くれぐれもご注意ください。（※取外すと再使用はできません。）

■ 縦枠カバーの取付け方

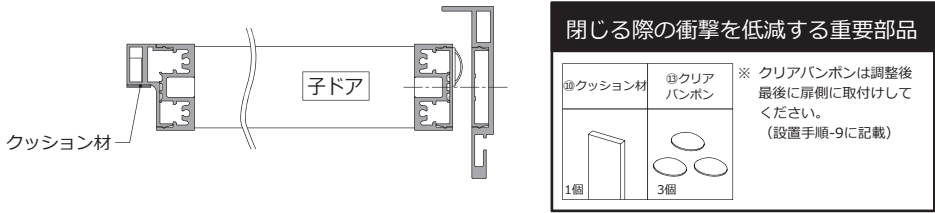
縦枠カバーを、縦枠の下側に差し込みます。

※左右両方の枠に取付けてください。
※上枠カバーは扉吊り込み後に取付けます。
（手順 6）



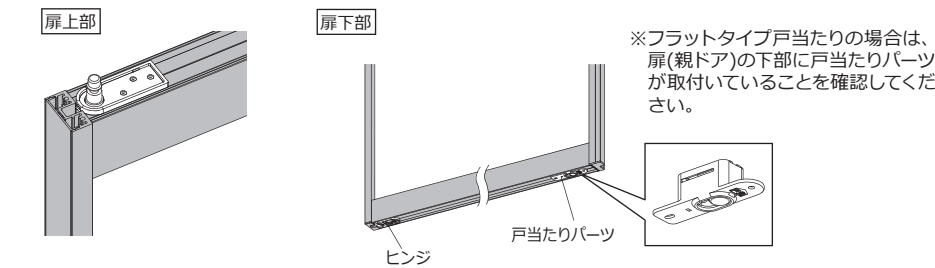
3. クッション材の取付け

子ドアの縦枠にクッション材を取付けます。



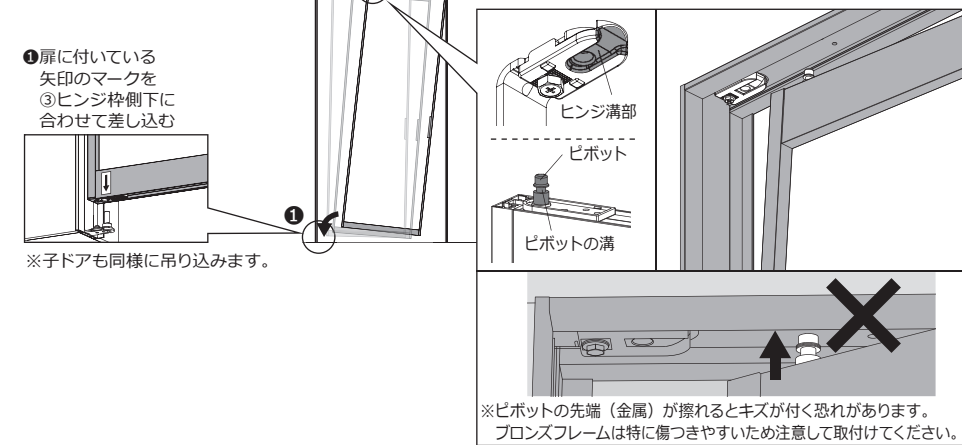
4. 扉（親ドア・子ドア）の吊り込み

①扉(親ドア・子ドア)の上・下にヒンジが取付いていることを確認します。



②扉(親ドア・子ドア)を吊り込みます。

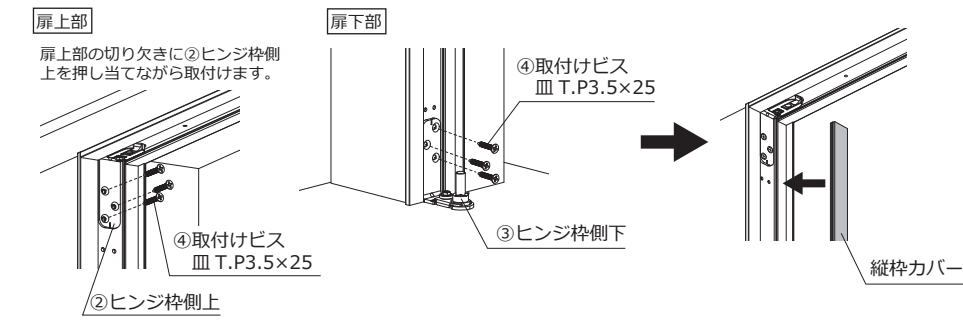
《ヒンジ枠（上下）側》



縦枠カバーを必ず取付けてから、扉を取付けてください。

2. 縦枠カバーの取付け（ブロンズフレームの場合）

※以下、全て左勝手仕様の場合です。
枠の上下に枠側ヒンジを取付け、縦枠カバーを取付けます。

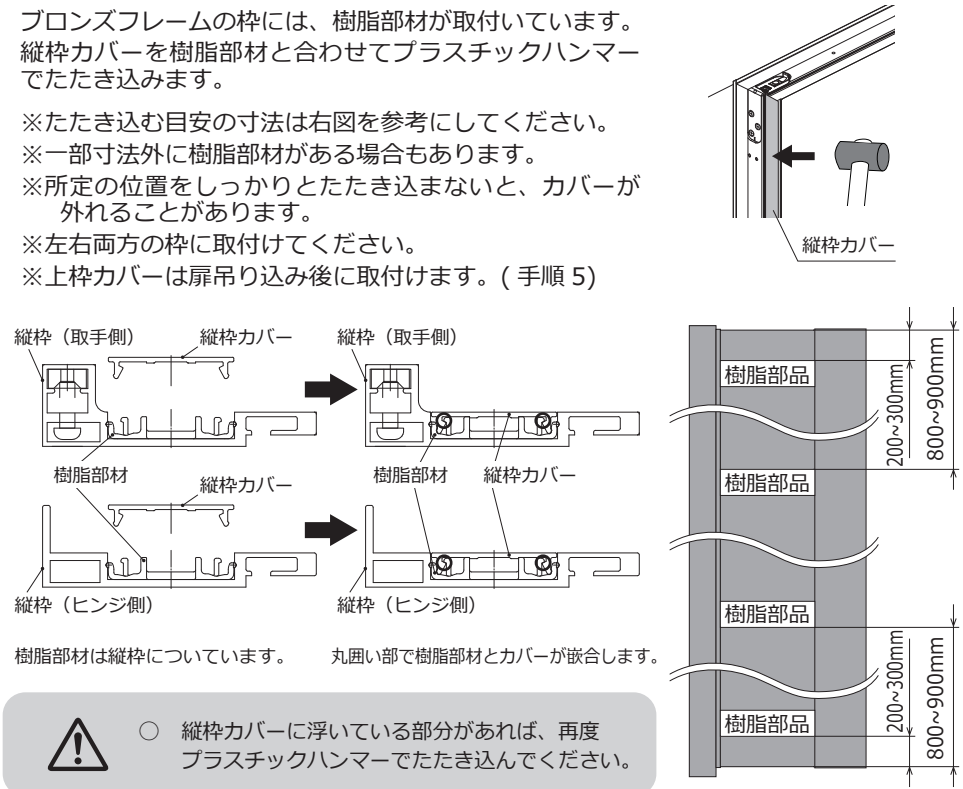


○ 一度カバーを取付けてしまうと、取外しができない為、くれぐれもご注意ください。（※取外すと再使用はできません。）

■ 縦枠カバーの取付け方

ブロンズフレームの枠には、樹脂部材が取付いています。
縦枠カバーを樹脂部材と合わせてプラスチックハンマーでたたき込みます。

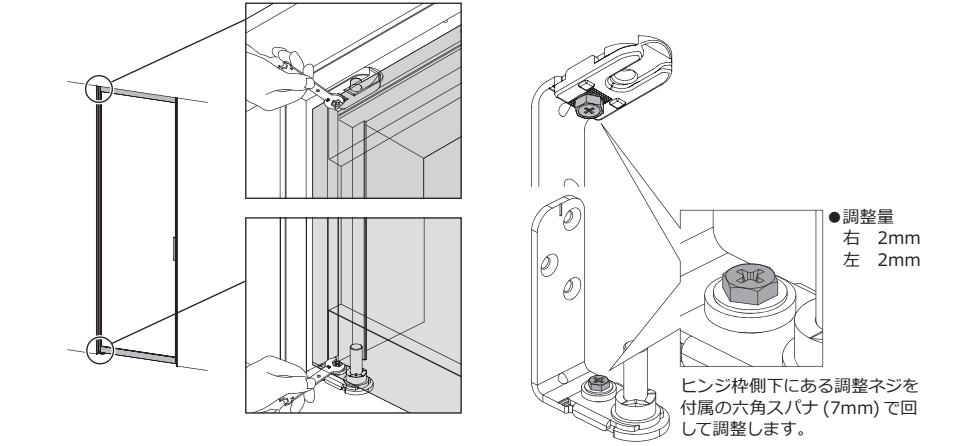
※たたき込む目安の寸法は右図を参考にしてください。
※一部寸法外に樹脂部材がある場合もあります。
※所定の位置をしっかりとたたき込まないと、カバーが外れることがあります。
※左右両方の枠に取付けてください。
※上枠カバーは扉吊り込み後に取付けます。（手順 5）



○ 縦枠カバーに浮いている部分があれば、再度プラスチックハンマーでたたき込んでください。

《ヒンジ枠（上下）側》

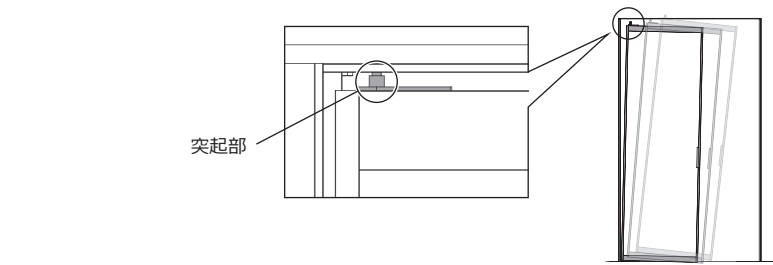
③②ヒンジ枠側上、③ヒンジ枠側下で扉の左右調整を行います。



④扉の位置が決まったら、調整ネジを締めて固定してください。

《扉の外し方》

扉上部に取付いているヒンジの突起部分を押し下げて、扉上部をスライドさせながら取り外します。



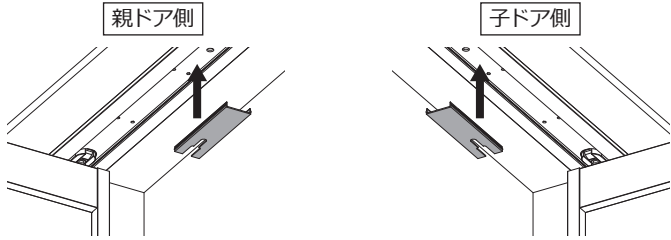
左右調整が終わるまで、上枠カバーは取付けないでください。

5. 上枠カバーの取付け（ホワイト / ブラックフレームの場合）

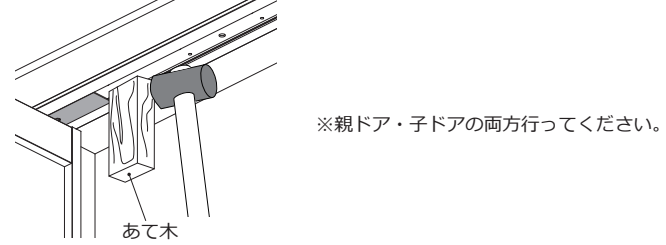
- 上枠カバー取付け前に、扉の建付、枠のたおれ、たいこ、つづみ、傾き、ねじれがないか確認してください。
- 上枠カバー取付け後は建具の取外しが行えません。ご注意ください。
- ドアダンパーの作動確認を行ってください。
- あて木、プラスチックハンマーなどでアルミフレームを傷つけないように注意してください。



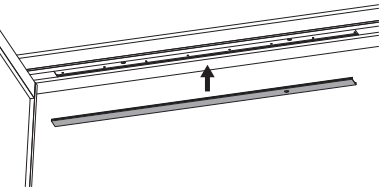
①U字加工のある枠カバーを、吊り元から少しはなした所で取付けます。



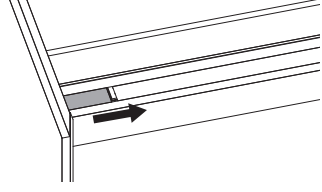
②取付けた枠カバーにあて木をし、プラスチックハンマー等で叩いて吊り元までスライドさせます。



③最後に、U字加工されていない枠カバーを取付けます。



④枠カバーどうしに隙間が出来た場合は、U字加工されている枠カバーを動かして、隙間をなくしてください。

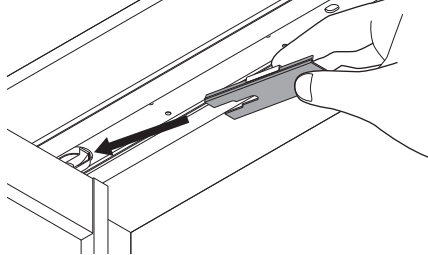


5. 上枠カバーの取付け（ブロンズフレームの場合）

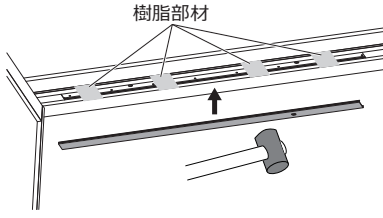
- 上枠カバー取付け前に、扉の建付、枠のたおれ、たいこ、つづみ、傾き、ねじれがないか確認してください。
- 上枠カバー取付け後は建具の取外しが行えません。ご注意ください。
- ドアダンパーの作動確認を行ってください。
- あて木、プラスチックハンマーなどでアルミフレームを傷つけないように注意してください。



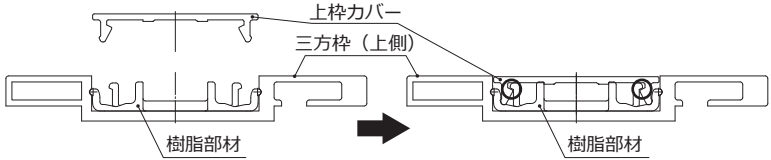
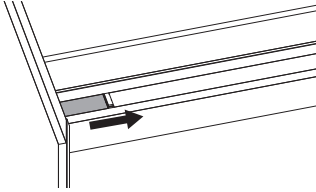
①樹脂部材が付いたU字加工のある枠カバーを、吊り元付近に斜めから入れ、取付けます。



②ブロンズフレームの三方枠（上側）には、樹脂部材がついています。枠カバーを樹脂部材と合わせてプラスチックハンマーでたたき込みます。
※所定の位置をしっかりとたたき込まないと、カバーが外れることがあります。



③枠カバーどうしに隙間が出来た場合は、U字加工されている枠カバーを動かして、隙間をなくしてください。

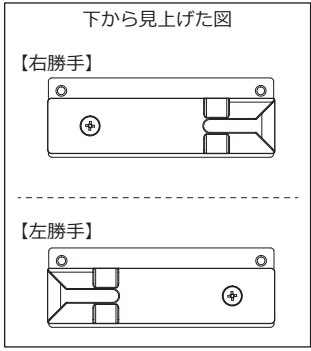
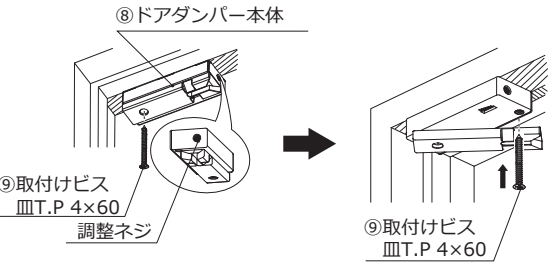


樹脂部材は三方枠（上側）についています。丸い部で樹脂部材とカバーが嵌合します。

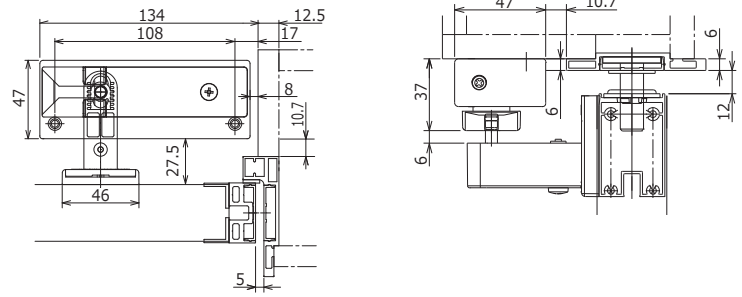
6. ドアダンパーの取付け

《本体の取付け》

- 本体を取付けます。
- ※ 扉を開けて行ってください。
- ※ 本体には左右があります。

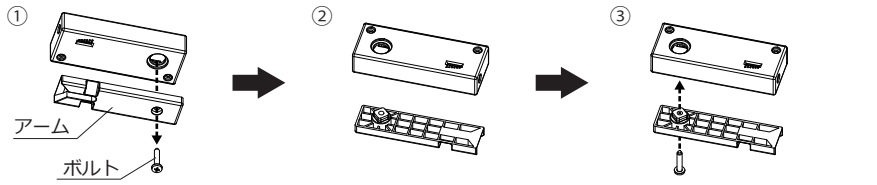


《取付け寸法》



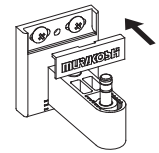
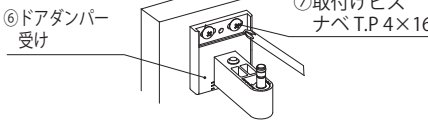
《扉の仕様を確認》

- 扉が左勝手の場合は、下図のようにアームを付け替えてください。
- ①アームのボルトを外す。
- ②本体とアームを上下・左右反転させる。
- ③アームを取付ける。
- ※出荷時は右勝手仕様の状態です。



《受けの取付け》

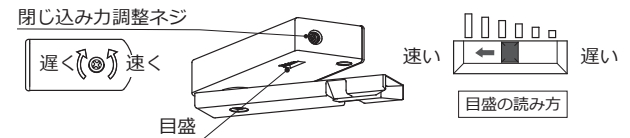
- ①あらかじめ開いている下穴に受けを取付けます。
- ②調整後にカバーを取付けます。



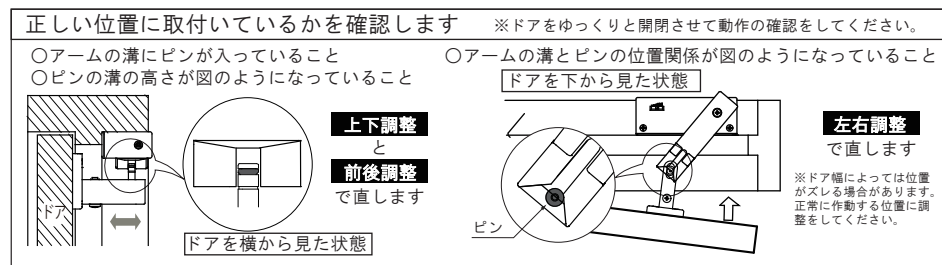
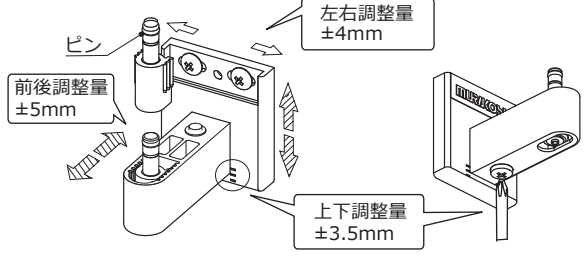
- ※ビスの位置に芯材があることを確認してください。
- ③扉を開閉して、扉がゆっくりと引き込まれるか動作確認をしてください。

《ドアダンパーの調整方法》

強弱調整（扉閉じ込み力調整）



位置調整（3次元調整）



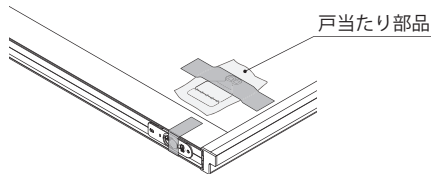
7. 戸当たり部品の取付け

◎フラットタイプ戸当たり

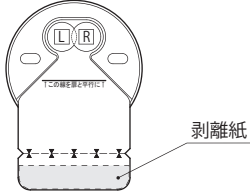
※以下、全て左勝手仕様の場合です。(右勝手仕様の場合は反転してください)
※フラットタイプ戸当たりは扉の調整後に取付けてください。

《受けの取付け》

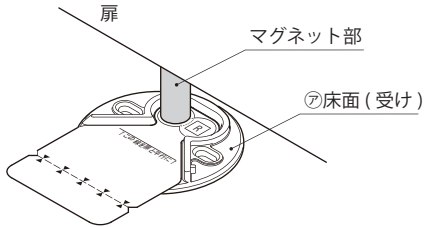
①扉から戸当たり部品を外します。



②型紙シール裏面にある両面テープの剥離紙をはがします。

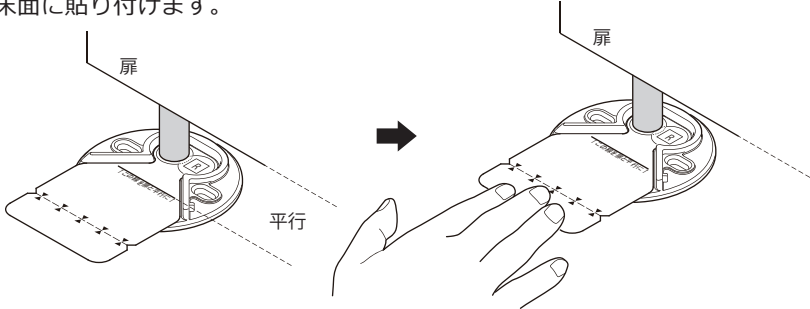


③型紙シールのLが記載されている部分に本体のマグネット部を取付けます。
※右勝手の場合はRに取付けてください。

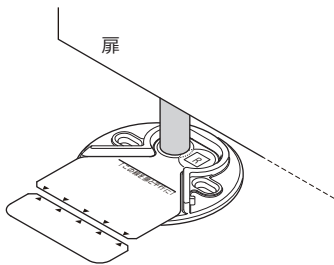


④任意の開閉角度位置まで扉を開けます。

⑤扉の下部と型紙シールの線が平行になるようにし、剥離紙をはがした両面テープを床面に貼り付けます。

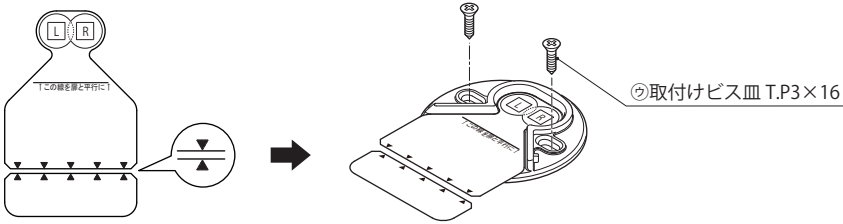


⑥扉を動かし、型紙シールのミシン目から下を切り離します。

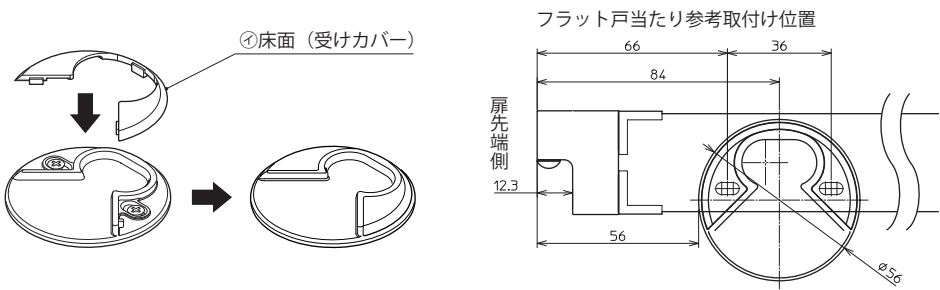


⑦扉を閉めて、戸当たりから一度離します。

⑧切り離れた施工治具と受けに付いたままの施工治具の「▲」を合わせて取付位置を確認し、㊟取付けビス皿 T.P3×16 で固定します。



⑨型紙シールを剥がし、下記「フラット戸当たり参考取付け位置」と大きなズレがないか確認してください。
扉を開閉した時に戸当たりが正常に作動していることを確認してください。
その後、受けカバーを取付けてください。

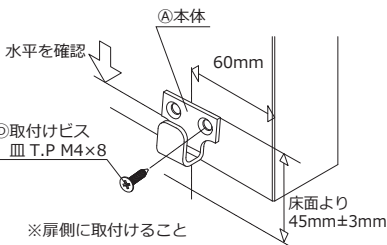


◎フックタイプ戸当たり

※以下、全て左勝手仕様の場合です。

《本体の取付け》

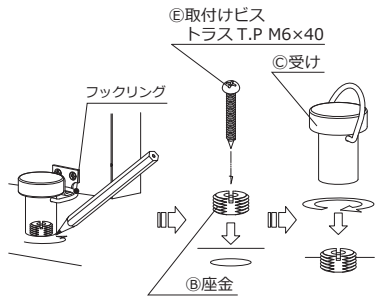
- ①取付け高さは、床面より45mmをプレート上端に合わせます。
- ②親ドアの戸先から70mmの間に位置決めをしてください。尚、扉の中央付近に取付けると扉が変形・破損する場合がありますので避けてください。
- ③水平を確認しながら付属ねじ2本で固定します。



《受けの取付け》

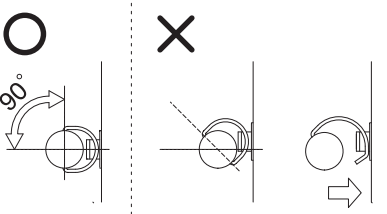
※木床の場合

- ①受け本体を床に置き、フックリングを扉側のプレート位置に合わせます。この状態で扉(親ドア)を開き、取付位置を確認します。
- ②扉(親ドア)を開けたときにレバーハンドル等が壁に当たらず適当な隙間(10mm以上)が確保される位置としてください。
- ③受け本体から床面取付金具を外して①で決めた位置に付属ねじ1本で固定します。
- ④受け本体を金具にねじ込んで、しっかりと固定します。

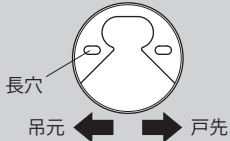


《取付け完了後の確認事項》

- 戸当たりが扉(親ドア)に当たっている状態で、レバーハンドル等が壁に接触せず、適当な隙間(10mm以上)があること。
- 本体がしっかりと固定され、床面に密着していること。
- 戸当たりのフックが扉(親ドア)のプレートに確実にかかること。
- フックリングがフックプレート(扉面)に対し90°の方向に固定され、確実にフックがかかること。

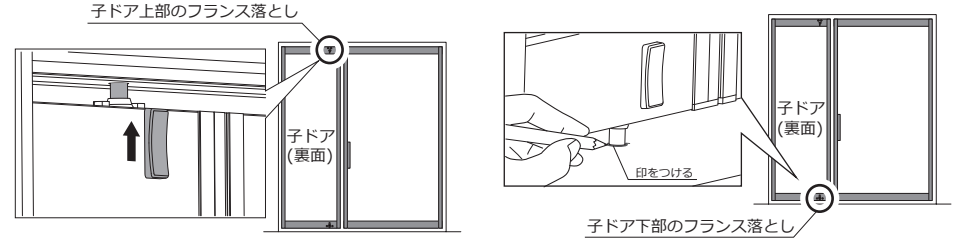


- 床面から扉の下端までの隙間が14mmを超えると磁石の反応が弱くなり、戸当たりが作動しません。その際は受け金具の下に木片などを入れて高さ調節してください。
- 扉のロックが弱い/強い場合は受け金具の位置を取付け部長穴で微調整できます。
受け金具を戸先に寄せる→ロック弱くなる
受け金具を吊元に寄せる→ロック固くなる。
- ねじの締め過ぎは部品の変形・破損の原因となるため、最後の締め付けは必ず手回しドライバーを使ってください。
- 取付けねじは床面に対して垂直に打ってください。ねじが斜めになると受けの位置がずれたり、カバーが取付かない場合があります。
- 本体のマグネット部先端に金属片などの異物を付着したまま開閉すると、フラット戸当たりに傷を付けてしまうことがありますのでご注意ください。

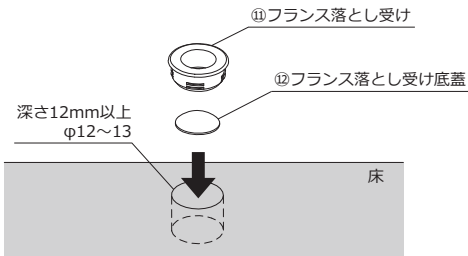


8. フランス落としの取付け

- ①上枠カバーにフランス落とし設置用の穴が開いているので、そこにフランス落としを差し込んで、子ドア上部のフランス落としを固定します。
※フランス落としは扉裏面に付いています。
- ②子ドア下部のフランス落としを下げ、下部フランス落としを付ける位置に印を付けます。

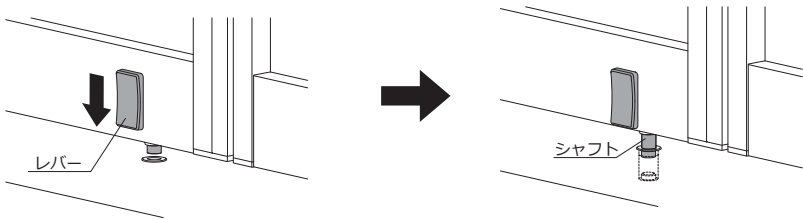


- ③子ドア上部のフランス落としを外し、印を付けた位置に深さ 12mm 以上 φ12 ～ 13 の下穴を開け、②フランス落とし受け底蓋・⑪フランス落とし受けを取付けてください。



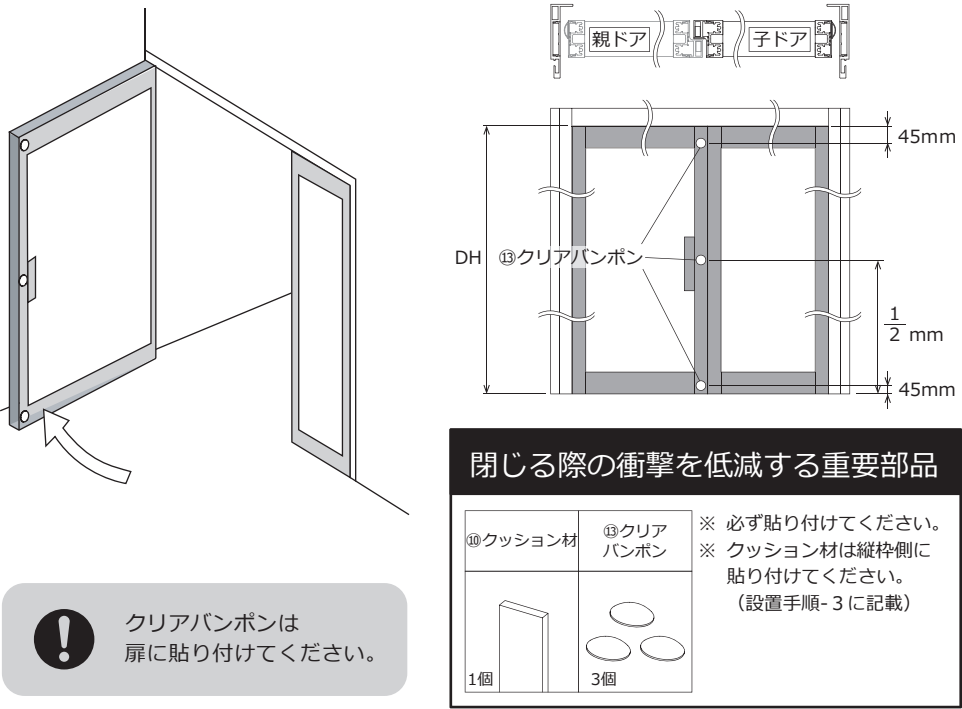
- 穴の深さは12mm以上開けてください。穴が浅い場合は、フランス落としがしっかり固定できない場合があります。
- フランス落とし受けを設置後に位置調整する場合は、下穴を大きめに開けてください。大きく開けた場合は接着剤等で固定してください。(※接着剤等は現場調達をお願い致します。)

- ④最後に子ドア上部と下部のフランス落としをしっかりと固定し、親ドア・子ドアに異常がないか確認を行ってください。



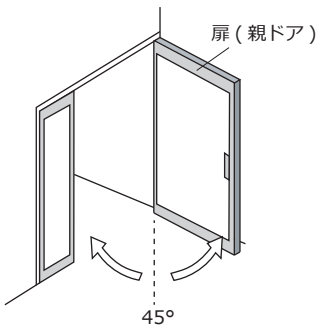
9. クリアバンポンの取付け

子ドアと親ドアの召し合わせ部分に貼り付けてください。



5 ヒンジについて

この商品は、扉が自然に開閉する機構になっており、45°を境に自然と閉じ方向・開き方向に動作します。



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター
- 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

